

令和7年度第1回庄原市「学びの変革」推進協議会

■日 時：令和7年5月9日（金） 15:30～16:30

■場 所：各校（Zoomを使用したオンライン研修）

■参加者：「学びの変革」担当者（各校1名）、ICT活用推進リーダー（希望者）

■目 的：本市児童生徒の「主体的な学び」を促進する教育活動を推進するとともに、学校全体での組織的なカリキュラム・マネジメントの実現に取り組むことにより、児童生徒の資質・能力の向上を図る。

【講話・交流】

「「学びの変革」の“深化”～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて～」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福原 理恵

○ R7「学びの変革」の“深化”の取組について

・今年度の取組の重点は「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、一人1台端末の更なる活用を図ることである。

○ グループ交流

- ・ 自校における一人1台端末の活用状況や活用事例
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業について

○ 全体共有

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることが重要である。
- ・ 一体的な充実を図るためには、個別と協働のそれぞれの場面において、教師が個々の状況を丁寧に見取り、適切な指導や関わりをしていくこと（＝「教師の指導性」を発揮すること）が必要である。

○ 庄原市教育委員会による取組・支援等の紹介

・ 庄原市教育委員会の取組・支援として、「学びの変革」チャレンジ加配事業（東小学校、庄原中学校）、オンラインによる授業づくりや授業改善に係るミニ講座について紹介した。また、文部科学省作成「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のためのサポートマガジン『みるみる』」についても紹介した。

1 R7「学びの変革」の“深化”の取組について



☆協議 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業について～

○ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業について

- ① 授業の取組（実践）
- ② 自校で、どのように取組を進めていくか

ブレイクアウトルームに分かれて、協議してください。
発表者を1名決めておいてください。

【参加者の感想等】

- ◆ 個別最適な学び、協働的な学びの充実のために、単元計画を必然性があり児童の興味関心にあったものにすることや、選択の場を与えることが大切だと感じた。ICTの具体的な活用方法等も知ることができた。
- ◆ 交流を通して、他校の具体的な取組を知ることができた。ICTを活用することで、児童同士もつながりやすく、また、学習のプロセスも見取ることができると感じた。学年や集団を問わず、ICTを活用できるスキルを身に付けるとともに、教師の見取りの方法も多様化させていく必要があると感じた。教師がどのようにファシリテートしていくか、今後研修していきたいと思う。
- ◆ 本校でも「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化の捉え方について協議し、全体での取組を考えていきたい。職員間で「個別最適」の捉え方について共通認識を図りたいと思う。また、研修の中で紹介されたサポートマガジン「みるみる」を通じて、一体化について具体的に捉え、実践につなげていきたい。